新会員あいさつ

3年間の振り返りと大学生活について

松尾　尚記（令3年卒）

この度、左沢高等学校同窓会の新会員となりました、松尾尚記と申します。新会員になったばかりですので不安は有りますが、先輩の皆様や同期のメンバーと共に、左沢高等学校の学校生活や様々な活動を支えていけるよう努めてまいりたいと思います。

私にとって、高校生活3年間はあっという間でした。大学生になった今でももう少し高校生でいたかったなあと、思ってしまう時があります。自然に囲まれ、のびのびとした環境で友達や先生方と過ごした日々は、生涯忘れることのない素晴らしい3年間になったと思います。そんな楽しい高校生活を終え、一人ひとりが新たな道を進んでいます。

私は、東北公益文科大学へ進学し、日々頑張っております。初めは不安でいっぱいでしたが、新たな友達ができ充実した大学生活に近づいています。大学生活において最も力を注いでいるのがサークル活動です。私は、複数のサークルや地域活動団体に所属しております。同期の仲間や先輩、更に地域の方々との交流もあり楽しみながら交流できる環境の中で過ごしています。忙しくて大変な時もありますが、仲間と共に助け合いつつ、楽しかった高校生活を思い出しながら今後も自分の目標に向かって日々努力してまいります。

社会人になって思った事

阿部海瑞希（令3年卒）

同窓会の委員として今後の左沢高校を支えていけるように頑張りたいと思います。

私は、高校を卒業して就職の道に進み現在は介護士として日々働いています。小さい頃からの夢であった介護の仕事につけて嬉しい反面辛いことや大変なこともあります。そんな時は、高校で出会った友人と楽しかったことなどを語り合うことで私は、明日も頑張ろうと前向きな気持ちになれます。そのくらい左沢高等学校で過ごした3年間は、これまでの学校生活の中でもいちばん楽しい思い出が多く、今の私を支えてくれるとても大切な時間になりました。

私は、就職してから他県に進学した友人とコロナ禍で会うことができない状況なので、終息したら皆で集まって高校での思い出や、今頑張っていることなど語り合いたいと思いました。

私は、3年間様々な場面で支えてもらったので、今度は恩返しができるように頑張ります。

総合学科　地域とともに歩む「課題研究Ⅰ」進行中

私たち左沢高等学校が「総合学科」の高校に移行してから今年で8年目を迎えた。今回は、その総合学科としての活動の中心として令和2年度から力を入れている「課題探究Ⅰ」(2年次生対象)について詳しく紹介したい。

これは「総合的な探究の時間(2年次2単位・3年次1単位)」の活動のひとつである。目標は「地域の課題を自ら発見し、解決するための活動の計画を立て実践する」。本校並びに本校が所在する地域の現状・実態を思えばこのテーマの重要性はどなたにも理解していただけるものと思う。

課題探究発表会（令和２年度のもの。令和３年２月、於・大江町ふれあい会館）

この学習を行うため、令和元年度以降、まず教職員から「課題解決のための探究型学習」について理解を深める研修会を開いた。令和2年度以降の時間割設定の際には「探究学習」優先のコマ割り・教員配置を心掛け、生徒に対して教職員全体が組織的に指導できる体制を整えている。

そして生徒たちは、年度初めにまず「探究」の大前提となる対人コミュニケーションのスキル向上や「デザイン思考」についての理解を深める。その後「歴史・文化」「食」「福祉・教育」「生活」の4テーマの中から自分の希望するものを選び、グループを組んで活動計画をたてそれを実践し、年度末にはそれらの成果と反省、今後の課題についての報告を行う、というスケジュールに基づいて1年間の学習を行う。

地域の皆さまとともに（「ATERA」菊地様の指導）

地域の皆さまとともに（大江町観光ボランティアの会・石川様の指導）

また、この学習に欠かせないのは地域の皆さまの多大なるご理解・ご協力であることは言うまでもない。各テーマに基づいて選ばれた各界の協力者から得られるアドバイスとインスピレーションは生徒たちにとって何よりも貴重なものである。

「課題探究Ⅰ」初年度の令和2年度は、周知のコロナ禍によって年度初めの活動開始が遅れた上に校外での活動にも制約が多く、結果として、計画は立てたが十分な実践をするには至らなかったグループが多かった。しかし「地域の課題に自分たちがどのように主体的に関わるか」については以前に比べて長足の進歩があったと評価したい。今年度(令和3年度)もコロナ禍が収まらない中ではあるが、昨年度の経験と反省を踏まえ指導方法を再整備した教職員と地域の皆さまのご助力の下で、生徒たちは「具体的な実践」に向けての計画・準備を順調に進めている。

「少子化・人口減少が進む地方部の高校」だからこそ「やりたいこと・できることを、どんなふうにしたらできるのか」を考え実践することはとても大切だと思う。「課題探究Ⅰ」の取り組みは単に1科目の活動ではなく、本校並びその所在する地域の未来を左右する活動である、という自覚を持って、今後も着実に学習と指導を進めたい。

中間発表会（令和3年9月1日）

特別会員出版

七〇年目の店卸し

阿部　秀而

コロナ禍による外出自粛生活の日々に創ったという「七〇年目の店卸し」。お兄様に勧められて『炎の人』に出合い、新劇の世界に魅せられ、演劇に憑かれた70年の人生をまとめた本。

本の初めにある劇団員や俳優との楽しそうな写真の数々には、こちらも思い出が蘇ります。

沢山演劇を鑑賞することになった。高校教師の時は演劇部の顧問になり、指導に、舞台作りに関わった。一方、一般社会においては「山形演劇鑑賞会」を設立し、長年運営委員長を務めた。教職を退いてからは、山形平和劇場の実行委員長を務め、演出にも当たった。以前には「演劇時評」を『やまがた散歩』に寄稿し続けたり、新聞に文章を依頼されたりもしていた。また、講演後の劇団員との交流会や名優との対談等々。多方面に渡ってのご尽力には頭が下がります。

後編の年譜に左沢高校在職中(七年間)の事が載っている。要約すると、赴任年次の秋「左高祭で演劇をやりたい」と生徒会副会長(林君)から相談された。協力者を集めさせ、既成台本「巣立ち」で稽古。発表。観客は惜しみない拍手を送ってくれた。翌年演劇愛好会が設置承認。村山ブロックの発表会で「黒い太陽」を発表、最優秀賞を戴く。部に昇格。後年三月赴任当初から温めてきた左沢高校演劇部の上演台本として「京子よ泣くな」を書き上げる。

ところが四月に転任となった。十一月鈴木正晃顧問のもとで「京子よ泣くな」を県合同発表会で最優秀賞を受賞し、東北大会への出場が決まる。そして、先生から特別に指導して戴いた。翌年二月顧問の鈴木先生と同行し、東北地区高校演劇合同発表会で、「京子よ泣くな」を発表。奨励賞を受賞する。部員達にはすばらしい財産になったことでしょう。

（加藤　記）

地域の

花づくり運動

大江町の公共施設に本校で栽培した花苗をプランターに植栽し、各所にプランターを設置しました。中央公民館・ふれあい会館・左沢駅・柳川温泉4か所に置きました。本校は地域に根差した高校づくりをしており、地域の方々と共に成長していきたいと考えています。ボランティア活動に参加している生徒は、楽しみながら、和気あいあいと活動し、これからも行っていきます。

特別会員出版

雲のソナチネ

山歩きの雑記帳から

粕谷　俊矩

家から見える山々のエッセイ。写真もいっぱい。山歩きの楽しさが伝わる。

古寺鉱泉は昭和12年開業。標高680m、古寺川の瀬音に包まれた鄙びた宿である。朝日連峰の登山を終えて下山途中、ヒメコマツの尾根に差しかかった頃、木々の間から鉱泉の赤い屋根が見え、薪ストーブの煙の臭いが昇ってくる。疲れが何か心地よいものに変容し、登山という営みが完結する時だ。（スケッチ、粕谷）【1980年代の古寺鉱泉】

令和3年度　大会結果報告

野球部
第68回春季東北地区高校野球山形県大会　村山地区予選(2次予選)
対　寒河江工業高校　2対12　敗退
第103回全国高校野球選手権大会山形大会
対　酒田光陵高校　3対13　敗退
第74回秋季東北地区高校野球山形県大会　村山地区予選(3次予選)
対　山形明正高校　4対10　敗退

ソフトボール部
令和3年度村山地区高校総体女子ソフトボール競技大会(谷地・城北と合同チームで出場)
予選リーグ　対　東海大山形　2対14　敗退
対　山辺　0対9　敗退
順位決定リーグ　対　山形北　4対16　敗退
対　山形西　8対9　敗退
令和3年度山形県高校総体女子ソフトボール競技大会(谷地・城北と合同チームで出場)
1回戦　対　東桜学館　16対3　勝利
2回戦　対　山形西　3対10　敗退
第76回国民体育大会山形予選会ソフトボール競技大会(谷地・城北と合同チームで出場)
1回戦　対　長井　10対1　敗退

バスケ部
令和3年度山形県高校総体バスケットボール競技大会
1回戦　対　米沢東SS対65　敗退

バレー部
令和3年度山形県高校総体バレーボール競技大会
1回戦　0－2　対九里学園

卓球部
令和3年度国民体育大会兼東北総合体育卓球競技西村山地区予選会
少年男子シングルス　長岡溶(3年1組)　県大会出場
少年女子シングルス　大沼奈津子(3年4組)　県大会出場
令和3年度国民体育大会山形県予選会
少年男子シングルス　長岡溶　1回戦
少年女子シングルス　大沼奈津子　1回戦
2021年度　山形県卓球選手権大会兼全日本卓球選手権大会
ジュニアの部　西村山地区予選会
ジュニア男子シングルス　5名出場
ジュニア女子シングルス　3名出場
令和3年度山形県高校新人卓球大会村山地区代表決定戦
男子シングルス　5名出場
女子シングルス　3名出場
男子学校対抗　1回戦
左沢　0－3　日大山形

柔道部
令和3年山形県高校総体柔道競技大会個人戦1回戦敗退

剣道部
令和3年度村山地区高校総体剣道競技大会
女子団体　準優勝　安藤ほのか
女子個人　準優勝　安藤ほのか
令和3年度山形県高校総体剣道競技大会
女子団体　準優勝
女子個人　第3位　安藤ほのか
令和3年度国民体育大会山形大会予選会
少年女子の部　優勝　山形県選抜(安藤ほのか　出場)
準優勝　左沢高校

テニス部
令和3年度山形県高校総体テニス競技大会
対　酒田光陵高校　0－3敗退

放送部
第68回NHK杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究集会
・山形県大会　テレビドキュメント部門「アイイロ」1位(同部門での県1位は本校初)
校内放送研究部門「この2年の取り組みとこれから」2位
上記2部門が全国大会へ出場。本校放送部のNHK杯全国大会出場は31期連続30年連続出場のあと、令和2年度は大会自体が中止になったため。
第45回全国高校総合文化祭放送部門(和歌山県かつらぎ町)　結果一面に掲載

美術部
第45回山形県高等学校総合文化祭
・ポスター原画　優秀賞　鈴木瑞乃(3年)
農業愛好会(部)
高校生に形うまいもの商品開発コンテスト
作品名「カレーグラタンパン」優良賞
チーム「カレグラ」2年　浦山愛理　庄司ミサキ　1年　笹原和羽　松田和佳奈

人事異動

《転出》（　）内は勤続年数

青柳　敦子（2）校長　県立長井高等学校
安達　貞治（7）商業　市立山形商業高等学校
髙橋　暢広（5）数学　県立山形南高等学校
長岡　陽子（9）保健体育　県立山形東高等学校
斉藤　良彦（1）社会　県立霞城学園高等学校
影澤　利照（14）英語　県立山形北高等学校
管　隆博（3）事務次長　県立河北病院

《転入》

丹野　学　校長　県立山形東高等学校
渡邊　理恵　商業　県立霞城学園高等学校
佐藤　陽介　数学　県立荒砥高等学校
佐藤　学　保健体育　県立長井高等学校
青柳　崇　理科　県立高畠高等学校
山川　渡　農業　県立村山産業高等学校
熊谷　貴子　事務次長　県立山辺高等学校

ご冥福をお祈りいたします

訃報（敬称略）

令和2年8月　田村憲一郎（本全昭34卒）
令和2年10月　村形　喜男（旧職員）
令和3年5月　清野　啓三（旧職員）
令和3年6月　菊地むつ子（本全昭42卒）
令和3年7月　林　満喜雄（本全昭38卒）
令和3年8月　長岡　輝臣（旧職員）
令和3年9月　今野　敏博（旧職員）

◇編集委員

加藤富貴　宮林良幸
若月加代子　佐藤憲史
花山　護　佐竹宗弘
伊藤好浩　高橋順子